

高知カツオ県民会議 第10回カツオ食文化分科会 議事録

場所 (株)丸三会議室

開催日 H30年6月26日 13:30~15:00

参加者

(株)丸三 岡内啓明

和建设(株) 中澤陽一

ザ・クラウンパレス新阪急高知 中西克行

高知県調理師連合会 大下正治

高知商工会議所青年部 西村修一

キンピール株式会社 大石恭三

(株)ティーエルホールディングス 久保公晶

高知広告センター 松岡洋介

食文化分科会 事務局(丸三) 別府康高

合計9名

(協議事項)

1. カツオマイスター認定制度について(業務系)

前回検討をしたカツオマイスター認定制度のデザイン全般について、デザイナーより再提案されたものについて協議をおこなった。

別添資料①カツオマイスターロゴマーク、金看板、認定書その他店内ツールデザイン案

別添資料②カツオマイスター関連の経費概要

資料①のデザイン案について

前回のタイポグラフィを使った案を調整したものが新たに提案され、出席者の好感触を得た。修正事項として、「高知」の表示を「高知家」に変更することが、高知県の取り組みとの連動や高知県全体の活動のうねりが感じられて望ましいということで一致した。この点について、再修正したものを幹事会にはかることとした。

資料②経費概要について

認定ツールの配布をどのような形でおこなうのか、カツオマイスターの申請をおこなう職人や店舗の皆様方がどの程度の費用を負担するのかを協議した。看板をチタンゴールドで仕上げた場合は資料②にあるように約7万円となり、認定盾や認定証、のぼり旗など全体の製作費で考えると10万円近くの費用負担となる。カツオマイスターとして個人が認定される制度という性格を考えると、費用が高いことで活動の広がりが制約されるのではという意見が出た。そこで、2~3万円程度の基本セット分を必須の申込費用とし、高額になるツールについてはオプションメニューとして構えることを分科会案とした。

認定証書、木製看板、木製盾、のぼり旗、ステッカー、三角柱 POP など、基本セットの内容は、高知広告センターさんに提案を頂くこととする。

今後の課題として、

- ・制作物の発注、納品、在庫、発送など制作物の管理
- ・申込受付、マイスターの名簿管理やマイスターの更新、広報など事務処理全般
- ・金銭管理

などをどうするのか検討しないといけない。分科会では、ひとまず高知広告センターさんに、業務として請け負いが可能かどうかの検討をお願いした。

また高知カツオ県民会議の活動期間は、当初2年ということであった。その場合に、看板や認定証などに、「高知カツオ県民会議」や「会長 尾崎正直」の表示が適切であるかは、高知カツオ県民会議全体の検討課題である。

2. カツオ検定(一般向け)

前回分科会で、カツオ検定の先駆者である枕崎市を秋ごろ(9月下旬～10月初旬)に訪問し、現状と課題を学ぶこととした。まず出席委員には、事前学習の素材として、枕崎市のカツオ検定本を配布した。

なお枕崎市訪問を単独でおこなうと費用が約12万円かかるので、指宿でのパックツアーで視察を企画する事とした。

【 今後の日程 】

7月31日(火) 13時半～15時 食文化分科会 (丸三)